

山口大学医学部&附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

山 大 医 学 部 病 院 だ よ り

Yamaguchi University
Faculty of Medicine and Health Sciences

Yamaguchi University Hospital

NEWS



外来医療費後払いサービス「らくらく会計」導入

7
2022

VOL.256

医療保険 オンライン 資格確認の 運用を開始

2022年4月1日から、オンライン資格確認の運用を開始しています。

オンライン資格確認とは、医療機関の窓口で患者さんのマイナンバーカードや健康保険証を利用して、オンラインで医療保険の資格情報が確認できる仕組みです。

本院では、マイナンバーカードの顔認証付カードリーダーを設置しており、マイナンバーカードを健康保険証として利用できます。

MERIT オンライン資格確認のメリット

医療保険の資格情報 正確に確認

マイナンバーカードや健康保険証を利用して、オンラインで確認することにより、医療保険の資格情報を正確に確認できます。

マイナンバーカードを健康保険証として利用可能

顔認証付カードリーダーやマイナポータル等から、「健康保険証利用の申込」を行うと、マイナンバーカードが健康保険証として利用できます。



窓口はいずれも外来診療棟(C棟)1F

- 保険証確認窓口は14番、
- 後払い専用窓口は15番です。

限度額適用認定証等の申請と提示が不要

マイナンバーカードによる本人確認の際に、患者さんが限度額情報の提供に同意することにより、限度額適用認定証等の申請と提示が不要となり、限度額以上の医療費を窓口で支払う必要がなくなります。

薬剤情報や特定健診情報を共有

マイナンバーカードによる本人確認の際に、患者さんが特定健診情報や薬剤情報の提供に同意することにより、医師、薬剤師等の医療従事者が情報を閲覧できます。

注意事項

※オンライン資格確認の対象となる証類は、健康保険被保険者証、国民健康保険被保険者証、後期高齢者医療被保険者証等の保険者がシステム管理している証類です。自治体が管理している公費負担・地方単独事業に伴う証類は、現時点では対象外です。

お問合せ
窓口

外来診療棟(C棟)1F

- 保険証確認窓口(14番窓口)
オンライン資格確認
(マイナンバーカード顔認証付カードリーダー)
- 後払い専用窓口(15番窓口)



「らくらく会計」の事前登録はこちらから



Android



iOS

詳しくは病院HPのお知らせをご覧ください。

山口大学病院 らくらく会計

2022年4月1日から、外来での医療費の後払いサービス「らくらく会計」を開始しています。本サービスは、患者さんのスマートフォンにインストールしたアプリケーションの操作により、診察当日に利用者・医療機関登録(初回のみ)、クレジットカードを登録(初回のみ)と後払い利用申請(診察日ごと毎回)を行い、診察終了後に後払い専用窓口で会計受付をしていただければ、会計を待たずにそのまま帰宅することができるサービスです。

本サービスの導入により、外来会計時の混雑を緩和し、診察終了後の会計受付からお支払いまでの患者さんの待ち時間を改善することを目的としております。

注意事項

※本サービスは、入院の医療費は対象外です。
※妊産婦検診・乳児検診等の補助券を使用される方や各種公費医療の自己負担上限額管理票(指定難病、小児慢性特定疾患、自立支援医療、肝炎等)への記載が必要となる方は、本サービスをご利用いただけません。
※本サービスは、スマートフォンのみ対応しており、タブレットやフイーチャイフォン(ガラケー)には対応していません。
※本サービスの利用手数料は無料です。ただし、スマートフォンの通信料は、利用者の自己負担となります。

外来医療費後払いサービス 診察終了後の待ち時間を改善します!!
「らくらく会計」を導入しました

らくらく会計利用手順

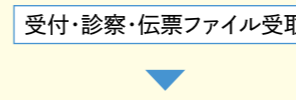


初回

- 1 スマホで事前登録
(アプリのインストール)



- 2 初回登録 & 申請
(後払い専用窓口)



- 3 診察



- 4 伝票ファイル提出 & 次回予約票・処方せん受取
(後払い専用窓口)

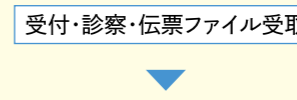
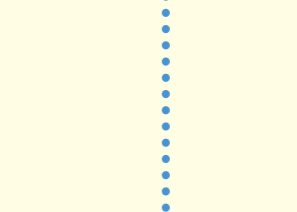


- 5 帰宅



2回目以降

- 1 診察当日にスマホに利用確認通知 & 利用申請



- 2 診察



- 3 伝票ファイル提出 & 次回予約票・処方せん受取
(後払い専用窓口)



- 4 帰宅

会計に並ぶ必要が
なくなります!

Topic

NICUの保育器をときわ動物園へ譲渡

このたび、宇部市からの依頼で使わなくなった本院NICUの保育器をときわ動物園へ譲渡しました。

この保育器は全身状態の悪いサルなどの動物のICUとして活用されたり、親が育児をしなかった子の人工保育や鳥類の人工育雛のために使用されます。これまでときわ公園は保育器を保有しておらず、今後の動物たちの健全な育成に期待が寄せられます。



宇部市ときわ動物園・多々良成紀園長は「これからは安全に動物の人工保育などができるようになります。とてもありがたいです」と感謝を述べました。



ときわ動物園の多々良成紀園長

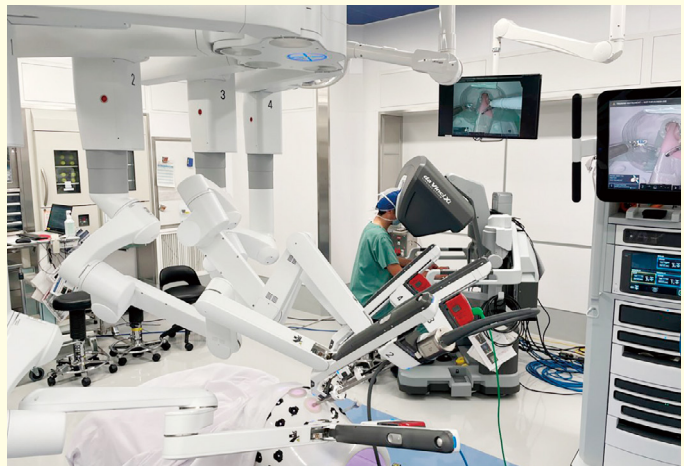
Topic

手術支援ロボットを用いた直腸がん手術を開始 —県内初!最新のda Vinci Xiシステムでの導入—

5月より、“手術支援ロボットを用いた直腸がん手術（ロボット支援下直腸切除・切断手術）”を開始しました。

このロボット支援下手術は、新しい内視鏡外科手術で患者さんのお腹にあげた小さな穴から挿入した手術機器と内視鏡をロボットアームにドッキングして、医師が離れた操作ボックスの中で内視鏡画像を見ながら鉗子（かんし）やカメラを操作して手術を行います。腹腔鏡手術は開腹手術と比較して、手術の傷が小さく、患者さんに与えるダメージ（手術侵襲）が小さいという利点がありましたが、用いる鉗子の動作には制限があり、手技の難易度が高くなるのが欠点でした。しかしながらこのロボット手術は、3D画像を見ながら、手ぶれ補正機構が備わった、人間の関節可動域を超える多関節機能を有する鉗子を用いることで、腹腔鏡手術の利点である低侵襲性はそのままに、欠点を補って余りある手術方法といえます。

本院では2012年にロボット支援下手術が導入され、現在最新の da Vinci Xi システム (Intuitive Surgical 社) を設置しており、泌尿器科(前立腺、腎)、呼吸器外科(肺、縦隔)、



消化器外科(食道・胃)で実施しています。このたび直腸がんで開始することになりましたが、山口県内では2施設目の導入であり、最新の da Vinci Xi システムでの導入は県内初です。今後も本院では、このロボット支援下直腸がん手術の導入によりさらに高水準でからだに優しい手術を提供し、直腸がんの治療に貢献して参ります。



公式Facebookページで
山大病院の情報を配信中!!



企画発行 山口大学医学部広報委員会・山口大学医学部総務課総務係
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2007
医学部 <http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/>
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>